



優秀賞 (総合部門)

タイトル 2B64リノベーション —プレファブ住宅の再生—

タイプ 持家一戸建

講評

上位賞検討作品。設計者の実家の改修である。古いプレハブ住宅のリフォームはいろいろ制約もあり、難しい点もあったと思われるが、既存の鉄骨を大胆に露出し、果敢に挑戦した姿勢を評価したい。今後を期待したい。

リフォーム前後の写真

▶ リフォーム前



- ① 築33年のプレファブ住宅。鬱蒼と樹木が茂り、南面していても日当たり、風通しが悪かった。
- ② 廊下は暗く、日中でも照明が必要だった。子供が独立したので使用していない部屋が多く、物置になっていた。
- ③ すべての居室が南面してはいるが、樹木とバルコニーのために1階は暗かった。また、気密性が悪かったため冬はとて寒かった。
- ④ 解体時の写真。外壁、構造フレームを残してほぼ全てを解体した。構造フレームや窓は規則正しく配置されている。

▶ リフォーム後



⑤ 外構は伸びすぎた樹木を整理し、一部を駐車スペースにした。

⑥ 老朽化したバルコニーを撤去し、グレンジのルーバー兼バルコニーとした。



⑦ 階段位置は以前と同じ位置で緩やかな階段に変えた。既存の構造とデザインを合わせるため軽量鉄骨U型鋼を使用。



⑧ ダイニングの奥はキッチン。以前のキッチンは食卓から離れていたため夫の食事中に妻は台所に入っていることが多かった。会話をしながら調理、晩酌ができるようにキッチンダイニングに向けてオープンにした。



⑨ 構造の軽量鉄骨はもともと黒く塗装されていたものを、一部補修をしてそのまま使用している。当時のプレファブ住宅はプラン、構造、窓割りがシンプルなのでそのまま生かすことができた。階段奥の壁の前に夫の趣味であるピアノが置かれる。その上部2階は書斎。リビングの壁には夫婦が集めた絵画をかけて楽しめるようにしている。



⑩ 1階奥は置き畳のある多目的室(家事室、客間、将来の寝室にもなる)

⑪ キッチンが業務用の工場で作成。奥に洗面所、浴室が見える。

⑫ 洗面・脱衣室とトイレを一体にして将来の介護に配慮。

⑬ 浴室は白いモザイクタイルで統一。既存の窓をそのまま利用。

⑭ 2階(ソラコンや書き物をするための書斎。カーテンで仕切る。

⑮ 2階 通路にそって壁面収納がある。寝室壁は文庫本用本棚。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など	
<ul style="list-style-type: none"> 1971年に建てられたプレファブ住宅を定年退職を機にリフォーム 趣味(ピアノ、絵画鑑賞、パソコン、料理、ガーデニング)を生活に取り込めるようプランニング キッチンとダイニングのレイアウトなど夫婦の会話を促す工夫 独立した子供家族や友人、地域の人々などの来客をもてなせる広く開放的なリビングルームと可動間仕切りのある客間 将来1階で生活できるようなプランとフラットな1階床 介護に備えたゆとりある水まわり 	<ul style="list-style-type: none"> 水廻りまで床暖房を設置し、ワンルーム化、部屋同士の通気を行うことで部屋間の温度差の軽減(高血圧症の施主への配慮) 既存の構造を露出させ、規格化された軽量鉄骨構造の美しさを生かしたデザインと落ち着いた色使いのインテリア 万が一車椅子になった場合、スロープを接続できるデッキ 1970年前後に団塊世代が購入したプレファブ住宅の多くは30年が経過した現在、大替や改修の必要に迫られている。この計画はそのような住宅のリノベーションのプロトタイプとなりうると考えます。
特に配慮した住宅性能: 高気密高断熱化、室内温度差の軽減	
データ	
所在地 愛知県豊田市	構造/築後年数 鉄骨系プレハブ 造/ 33 年
該当工事面積 106.06 m ² /総工事床面積 106.06 m ²	該当部分工事費 1,416 万円/総工事費 1,416 万円
居住者構成 15歳以上65歳未満: 2 人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ベッド: 人	
設計者 一級建築士事務所 ikmo	担当者 柴田 晃宏・比護 結子
施工者 (株)荒川工務店	担当者 柴田 忠

